

北欧特集！ ミナ ペルホネン × ハンス J.ウエグナーの家具

# ELI DECO R

UNIKKO 50th ANNIVERSARY  
とじ込み付録

マリメッコ  
大図鑑

エル・デコ  
8月号 AUGUST 2014

## やっぱり好きな、 北欧デザイン

ヴィンテージ・クルーズに出かけよう

トーベ・ヤンソン生誕100周年！

新しいアルテックの冒険

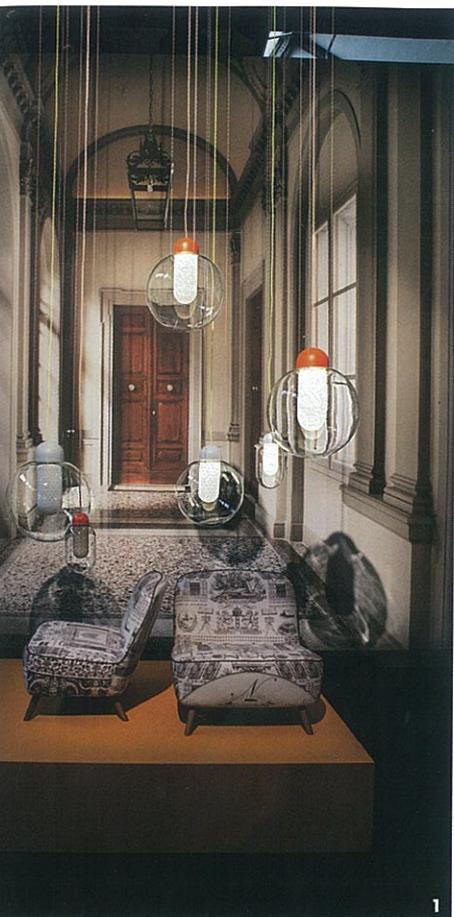
ボーエ・モーエンセンを知ってる？

北欧の名作家具カタログ

巨匠ポール・ケアホルムの素顔とは？

### ミラノ・サローネ2014 詳報

女も憧れる「男のキッチン」



## やっぱり人気のトルトーナ、 評判となった展示はこの3つ!

Photos NOBUO YANO Text TAKAHIRO TSUCHIDA



### 41 吉岡徳仁氏が目指したのは、 —— 宇宙を感じるテーブル

テコの原理で4mを超す大理石が宙に浮かんでいるように見えるテーブル「Agravic」(無重力)を、トルコの鉱物輸出協会のブースで発表。「歴史に残るような作品を作りたいんです」と語る吉岡氏ならではの挑戦的な作品だ。

### 42 見たことのない奥行き感が、 —— モーイの家具を際立たせる。

写真家マッシモ・モリスリの遠近感のある写真を背景に、新旧アイテムをスタイリングしたモーイ。時空を旅するかのような見事な演出だった。1 ショールテン&パーイングスの新作ランプも登場。2.3 背景の写真が、展示空間をより豊かに感じさせる。/ トーヨーキッチンスタイル

### 43 1000㎡の広大な空間に、 —— “和”なアイテムがずらり。

7年ぶりとなった東京デザイナーズウィークの出演は9万人以上の来場者を記録。風呂敷、茶室、アイドルなどの日本文化の現在形を集結させ、トルトーナ地区の話題作りにも貢献。1 長坂常氏が屋台をモチーフに展示構成した東京物産展。2 メインビジュアルは清川あさみ氏が担当。



### 日本発のデザインコンサルティング、 「ギャルド」がミラノ・サローネで発信!

東京をベースに、ミラノ、パリ、ニューヨークなど世界8都市で活動するデザインコンサルティング会社「ギャルド」。フォーリ・サローネへの参加は8回目。今回は“地球に食料を、生命にエネルギーを”をテーマに来年開催されるミラノ万博を視野に入れ、“食”に纏わるプレゼンテーションを、青山デザインフォーラムと共催でトルトーナのオフィスで展開。日本食の魅力アピールしていた。  
<http://www.garde-intl.com/>





**44 ヤコブセンの幻の椅子と、  
ハイメのテーブルがマッチ**

アルネ・ヤコブセンが1958年にデザインしたドロップチェアを復刻したフリッツ・ハンセン。ハイメ・アジジョンの新作テーブルともよく合う。1 カラーが豊富なドロップチェア。2 ハイメのテーブル「アナログ」は、椅子をどこにおいても快適なシェイプに注目。/フリッツ・ハンセン日本支社

**45 グルチッチ×アルテック、  
新作椅子の名は「ライバル」**

アルテックとコンスタンチン・グルチッチの初コラボによって誕生した「ライバル」。コンセプトは「アルトのツールが進化した椅子」という意欲作だ。1 「部材をシンプルに組むデザインを徹底的に洗練させました」とグルチッチ。2 フレームは4色展開。/アルテック ジャパン

**46 伊東豊雄氏が手がけた、  
シナサンドのショールーム**

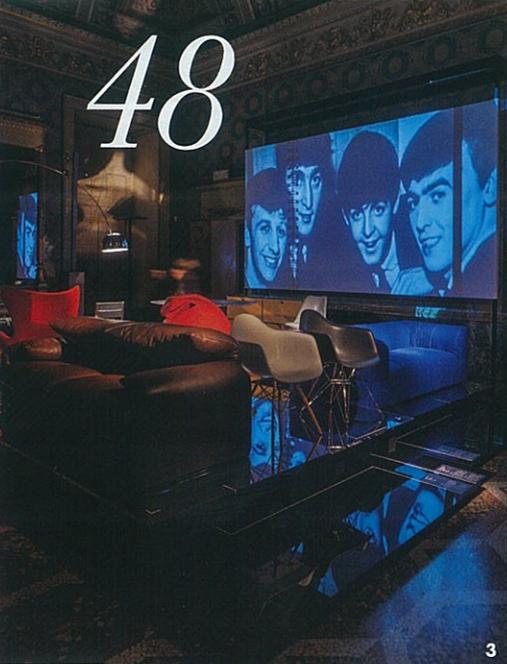
建築家の伊東豊雄氏がデザインした、ミラノ市内のシナサンドのショールームは、高い位置のボールに製品のテキスタイルを掛けて、その魅力を引き出す趣向。静謐な光と素材感に包まれるリラックス空間だ。/マナトレーディング



**あの北欧勢から届いた、  
気になる最新情報は？**

Photos NOBUO YANO (44), TAKUMI OTA (45)  
Text TAKAHIRO TSUCHIDA (44, 46)

**48**



**48 エル・デコ伊版が提唱する、  
BE ORIGINAL展も大盛況。**

パラッツォ レアーレで開催されたエル・デコイタリア版主催の展覧会「BE ORIGINAL」。1 今の時代、オリジナリティこそが、デザインを生き延びさせる鍵であることを思い起こさせる企画だ。2、3 デルッキ、マジストレッティ、イームズなどの名作が、元王宮の荘厳な広間に集った。

**メッセージ性に溢れる、  
注目の展示はこのふたつ。**

Photos NOBUO YANO Text TAKAHIRO TSUCHIDA (47)



**47 使い古しにも目を向けよう！  
路上に修理工房が登場。**

靴、食器、椅子などの臨時修理工房がリナシェンテ百貨店の前に登場。これはマルチノ・ガンバーのアイデアで、+αのリペアが施された。1 ここで生まれたものはウィンドウに展示された。2 人々が持ち寄るものをその場でアップサイクルする、FABLAB MILANOのスタッフ。

